



保健 保健福祉課からのお知らせ

問 保健福祉課 健康増進係
☎476-1111(131)

◆子どもたちの歯を守ろう！ ～『むし歯ゼロ』をめざして～

大崎町の子どもたちのむし歯の実態を歯科検診（平成23年度）で見ると、1歳6か月児の約6%にむし歯があり、県平均の約2倍、全国平均の約3倍という多さです。3歳児では、全体の35%にむし歯があり、全国平均の1.7倍、12歳児（中学1年生）の一人平均むし歯は、7.2本で県平均の約4倍、全国平均の約6倍という多さです。

町ではこれらの実態を踏まえて、平成24年度から子どもたちのむし歯予防活動に力を注いでいます。

まず、町内7つの全保育所（園）、幼稚園で4～5歳児（233人）の『フッ化物洗口』を始めました。また、歯科衛生士等が園児に人形劇『おやつが好きなくちゃん』や歯みがき指導を行い、『8020運動推進員』（食生活改善推進員）が保護者と園児らに手づくりのおやつの試食や食育を行いました。

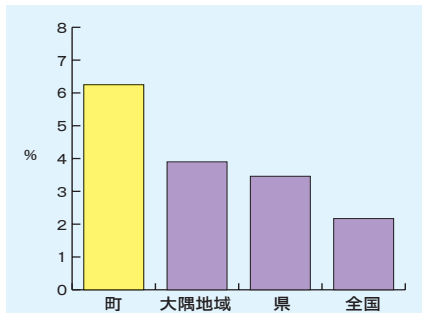
また、町保健センターで『8020運動達成者』（80歳以上で自分の歯が20本以上ある方）の表彰に合せて、平成24年度5歳児歯科検診において、むし歯ゼロ達成の子どもたち29名の表彰を行いました。さらに表彰式終了後には、両達成者らにより歯についての大切さや8020運動達成についての秘訣などの世代間交流会を実施しました。

今年度から新たな取り組みとして、『2歳児歯科検診』を実施するとともに、町歯科医師会や保育所（園）、幼稚園、小中学校小中学校等と連携を図りながら様々な事業を展開していきます。

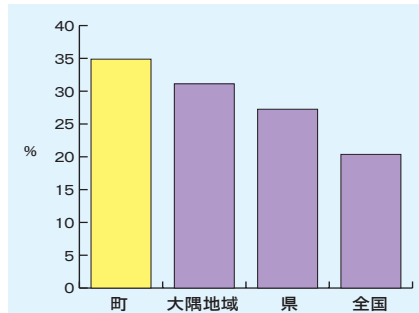
町民みんなで子どもたちをむし歯から守るために力を合わせていきましょう。

大崎町の子どものむし歯の現状

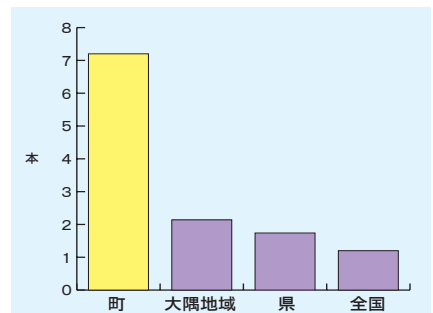
1歳6ヶ月児むし歯有病者率（平成23年度）



3歳児むし歯有病者率（平成23年度）



12歳児1人平均むし歯数（平成23年度）



町での取り組み状況



▲ 5歳児むし歯ゼロ達成者



▲ 8020運動達成者との交流会

フッ化物洗口とは、フッ化物水溶液を用いて、ブクブクうがいを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させて、むし歯を予防する方法です。